

十勝
連携地域



十勝総合振興局 帯広開発建設部

構成市町村

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

地域のめざす姿

国内有数の食料供給地域として、日本の「食」を支えるたくましく力強い関連産業等の展開により、様々な主体が輝き、安心して住み続けることができる持続可能な魅力ある道東の拠点「十勝連携地域」

【 農林水産業 】	たくましく力強い農林水産業の展開
【 産 業 】	活力あふれる産業の推進
【 観 光 】	地域資源を活かした観光振興
【環境・エネルギー】	地球環境に配慮した持続的社会的形成
【 地域社会 】	生命（いのち）を守り、安全・安心に暮らせる持続可能な地域社会の形成
【 社会基盤 】	計画的な社会基盤整備

概ね10年の地域のめざす姿を示しています

地域の現状・課題

連携地域の現状・課題

【 農林水産業 】	<ul style="list-style-type: none"> ・農林水産業を取り巻く環境が変化中、安全・安心で高品質な農水産物の安定的な生産・供給を継続するとともに、多様な人材の農業参画による担い手対策や地域の営農戦略に基づく生産基盤の整備、6次産業化を進める必要があります。 ・生産性の高い土地基盤等に合わせたICTやロボットなどのスマート農業技術の導入を促進していく必要があります。 ・耕畜連携による土づくりや農業研究機関等と連携した生産技術の向上を促進して、環境と調和した農業を推進する必要があります。 ・農業分野におけるDX化を進めるために、地域での課題の把握を行い、ロボット、AI、IOTのデジタル技術のほか、ビッグデータなどを活用した営農支援システムの構築の必要があります。 ・種苗放流などの効果的な資源添加や、安定的な生産が見込める養殖漁業などの栽培漁業を推進・強化し、主要魚種の大幅な減産や魚価の低迷に対応する必要があります。 ・地域関係者と連携した森林づくりを支える担い手の育成・確保及びスマート林業による効率的な施業の推進を図る必要があります。 ・主伐期を迎えたカラマツの地域内における需要を喚起し、地材地消の推進を図る必要があります。
-----------	---

十勝

連携地域



十勝総合振興局

帯広開発建設部

構成市町村

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

連携地域の現状・課題

【産 業】

- ・首都圏等において十勝の食や観光資源の更なるPRに取り組み、認知度を向上させ、十勝ブランドを確固たるものにする必要があります。
- ・十勝産品の認知度向上の取組等により、域外への販路拡大を図っていく必要があります。
- ・北海道スペースポートにおける民間ロケットの打上げ計画が進み、宇宙関連産業への参入に向けた動きが活発化していることから、関係機関と連携し、関連産業への参入や集積を促進していく必要があります。
- ・ものづくり産業など経済波及効果の高い企業立地や新事業創出の促進に取り組み、地域産業を活性化させる必要があります。

【観 光】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で減少した国内外からの観光客数を回復させる必要があります。
- ・道内他地域と比較すると低い傾向にある宿泊客や道外客の誘客促進のため、滞在型観光に取り組む必要があります。
- ・冬期間に観光入込客数、宿泊者数が減少するなどの季節的な偏在を解消するため、通年の入込客数等の確保について取り組む必要があります。
- ・広域的バス系統や鉄道などを基軸とした観光地までの更なるシームレスな交通サービスを推進していく必要があります。

【環境・エネルギー】

- ・ゼロカーボン北海道の実現に向け、住民参加型のエコ活動や環境学習など市町村と連携した環境保全の取組を継続していく必要があります。
- ・伐採跡地の解消や再造林の低コスト化、クリーンラーチ苗木等を活用した森林の若返りを図るため、適切な資源管理による計画的な伐採及び造林の必要があります。
- ・再生可能エネルギーの導入促進に向け、地域特性を活かしたエネルギーの地産地消の取組を更に展開していく必要があります。

十 勝

連携地域



十勝総合振興局

帯広開発建設部

構成市町村

帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、芽室町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町

連携地域の現状・課題

【 地域社会 】

- ・多様化するニーズに対し必要なサービスが提供できるよう、高齢者や障がいのある方、子どもの保育に係る福祉サービスを、市町村や道が関係機関と連携しながら取組を進めていく必要があります。
- ・保育職及び介護職の人手不足解消に向け、人材確保や職場定着を進めていく必要があります。
- ・男女平等参画に関する普及・啓発を継続的に行い、地域全体における意識を高める必要があります。
- ・災害に備えた防災基盤の整備や地域における防災・減災体制の充実強化を継続的に図っていく必要があります。
- ・関係団体と連携しながら、避難施設における停電対策や寒さ暑さ対策、感染症対策に対応する設備・物資の備蓄などを行うとともに、地域全体の防災意識の向上に向けた取組を進める必要があります。
- ・公共交通ネットワークの確保のため、利用促進や二次交通の充実に取り組んでいく必要があります。
- ・医療や防災など地域の暮らしを支える超高速ブロードバンドの整備を進めていく必要があります。
- ・移住施策の推進に加え、ワーケーションなど関係人口の創出・拡大への取組を進める必要があります。

【 社会基盤 】

- ・高規格道路と一体となった道路整備や物流拠点、ICへのアクセス道路の整備促進等、物流ネットワーク形成のための道路網の整備を行う必要があります。
- ・農地及び農業用施設の機能回復並びに災害を未然に防止するための施設の整備を促進する必要があります。
- ・地方空港の機能向上に向けた施設の整備を進める必要があります。